

平成 21 年度 第 5 回教育研究評議会議事録

日 時 平成 21 年 9 月 9 日 (水) 14 時 30 分～19 時 35 分

場 所 事務局大会議室

出席者 興、山本義、中村高、西村、満井、南、船橋、佐藤、三橋、今野、石井、
原田、山本章、伊東、酒井、荒川、村井、青山、増田、柳澤、東郷、
佐古、高木、鈴木、渡邊修、永津、渡邊尚、田中、三村の各評議員

欠席者 露無、加藤の各評議員

陪席者 大戸、塩田の各監事

野田、中村和、寺下、太田の各学長補佐

I 前回議事録の承認等について

平成 21 年度第 4 回教育研究評議会議事録 (案) 及び臨時教育研究評議会 (平
21. 8. 3 開催) 議事録 (案) を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 人事評価システムの整備について - 教員の個人評価の処遇への反映 -

南委員から、前回本会議での審議及びその後部局から寄せられた意見等を踏まえ、教員処遇指針検討ワーキングで検討した結果を、総合戦略会議において人事評価システムの検討に際しての留意事項としてまとめたこと、さらに、これに基づき、教員の処遇 (昇給・勤勉手当) の決定に係る指針 (修正案) 等を策定したことについて、資料 1-1～1-13 により説明があった。

続いて、種々意見交換を行い、以下の指針 (案) について、各部局において審議の上、次回本会議であらためて審議することとした。

○教員の処遇 (昇給・勤勉手当) の決定に係る指針 (修正案)

○部局等の長の処遇 (昇給・勤勉手当) の決定に係る指針 (案)

(意見交換で出された主な意見)

- ①個人評価システムの利用の仕方 (全部または一部を利用する等) を含めた指針にできないか。
- ②部局長の活動成果等の評価を、学長が行うことには反対である。部局長は部局での様々な難題に取り組みされており、評価の基準は一般教員とは異なるのではないか。
- ③勤勉手当支給にかかる 3 段階の評価において、各段階別の人数の割合については、部局の実情により柔軟に対応できるよう、配慮願いたい。

2 沼津工業高等専門学校との間における教育研究交流に関する協定書締結等について

山本委員及び中村委員から、以下の協定書締結等について、資料 2-1～2-3 により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

- 静岡大学と沼津工業高等専門学校との間における教育研究交流に関する協定書（案）
- 沼津工業高等専門学校から静岡大学への実習生派遣に関する覚書（案）
- 国立大学法人静岡大学と独立行政法人国立高等専門学校機構沼津工業高等専門学校との間の知的財産と産学官連携のための相互協力に関する覚書（案）

3 静岡県と国立大学法人静岡大学との研究分野での連携に関する協定書締結について

中村委員から、標記協定の締結の目的等について、席上配付資料により説明があった。

続いて、種々意見交換が行われ、委員から、連携推進協議会(案)に「情報学部」が含まれていないこと、及び人材育成・人的交流分野にかかる組織として、「地域連携協働センター」もこれに関わるべきではないか、との意見が出され、両部局等を加えることとしたほか、原案どおり承認した。

4 株式会社エフ・シー・シーとの包括連携協定の締結について

中村委員から、標記協定の締結の目的等について、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 タマサート大学（タイ王国）内への海外事務所の設置について

太田学長補佐(国際連携担当)から、標記事務所の設置目的等について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 学生の懲戒処分について

山本委員から、学生の懲戒処分（案）3件について、席上配付資料により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、同委員から、一部案件については、被害を受けた学生が現在在学中であること等を考慮し、懲戒告示文において、当該学生が特定されないよう、配慮したいとの発言があった。

Ⅲ 報告事項

1 企画・調整会議審議事項

(1) 静岡大学農学部長選考規則の一部改正について

議長から、選挙資格者の資格認定基準を明確にすること等に伴う標記規則の一部改正について、資料5により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された旨、報告があった。

(2) 平成21年度学長特別裁量経費（競争I型）の配分について

西村委員から、標記経費の配分について、資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された旨、報告があった。

なお、同委員から、本経費配分の算定基礎となる競争的資金として、来年度から、受託事業のうち地域連携事業等、同資金に該当すると思われるものについても算入する方向で考えたいこと、及び本経費の配分を7月中に行いたいとの発言があった。

(3) 平成22年度教員特別研修の採否について

議長から、標記研修の採否について、資料7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された旨、報告があった。

さらに、議長から、本研修については、制度の充実を図るため、別途、実施要領にかかる取り扱いを定めており、積極的に活用願いたいとの発言があった。

2 教育研究等組織の見直しにかかる検討について

山本委員から、総合戦略会議における教育研究等組織の見直しにかかる検討状況について報告があり、①組織整備にかかるコンセプト等を整理したこと、②教育組織、研究組織等の分野別の作業部会を設け、検討を進めていること、③10月の企画・調整会議に素案を提示できるようにしたい、との発言があった。

3 学長選考日程について

石井委員（学長選考会議副議長）から、学長選考日程について、資料8により説明があった。

4 経営協議会学外委員について

議長から、経営協議会石川嘉延委員（前静岡県知事）の後任として、川勝平太静岡県知事に就任を要請し、承諾を得たことについて、報告があった。

5 教員の採用等報告について

山本委員及び伊東委員から、大学教育センター2件及び情報学部3件の教員の昇任について、資料9及び席上配付資料により報告があった。

なお、南委員から、昇任人事を公募制によって行っている部局はなく、「教員採用等報告資料」の「採用等方法」欄に1又は2のチェックを求めることは実態にあわない、もしそれを求めるとすればほとんどが「公募以外による採用等」となり、「本学は公募制を採用している」とはいえなくなる恐れが生じるとの指摘があった。

これに対し、複数の委員から、昇任人事については、公募を原則とする扱いにはなっていないのではないかと、との発言があり、執行部に対し、書面による説明が求められた。

6 叙位・叙勲について

議長から、名誉教授(教養部)坂井昭三氏及び名誉教授(教育学部)若林淳之氏が、正四位の叙位を受章されたことについて、資料10により報告があった。

7 静岡大学創立 60 周年記念事業について

西村委員及び満井委員から、標記事業の内容について、資料 1 1 により説明があった。

8 中国社会科学院新疆生態地理研究所との間における学術交流に関する協定書等の締結について

議長及び高木委員から、平成 21 年 8 月 23 日に標記協定書等の締結を行ったことについて、資料 1 2 により報告があった。

9 平成 20 事業年度財務諸表の承認について

西村委員から、平成 20 事業年度財務諸表について、平成 21 年 9 月 1 日付け文書により文部科学大臣の承認が得られた旨、資料 1 3 により報告があった。

10 附属図書館本館リニューアル工事に伴うサービスの制限について

大久保学術情報部長から、附属図書館本館リニューアル工事について説明があり、工事に伴う利用制限等に対し協力依頼があった。

IV その他

以下の行事について案内があった。

- (1) 農学部現代 G P シンポジウム (10/17) [説明者: 高木委員 (資料 14)]
- (2) ハラスメント防止講演会 (9/28) [説明者: 船橋委員]
- (3) 高柳健次郎先生マイルストーン受賞記念式典 (11/12) [説明者: 三村委員]

以 上